

■ プログラム

司会:

大津 敦 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター長

矢守 隆夫 医薬品医療機器総合機構 審査センター長

■ 開会の言葉 大津 敦

第1部 **がん免疫療法の最前線** (9:05-12:00)

- 1** **がん免疫療法の基礎研究:最新の知見**
京都大学 再生医科学研究所 河本 宏
- 2** **免疫調整因子阻害剤の臨床開発:
米国での経緯と現状: overview**
国立がん研究センター
早期・探索臨床研究センター 吉村 清
- 3** **免疫調整因子阻害剤開発の最前線**
Oncology Clinical Research,
Merck Research Laboratories Eric Rubin
MSD株式会社
グローバル研究開発本部 嶋本 隆司
- 4** **免疫調整因子阻害剤をめぐるTR研究**
大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 西川 博嘉
- 5** **がん免疫細胞療法の新しい展開: overview**
国立がん研究センター
早期・探索臨床研究センター 中面 哲也
- 6** **がん免疫細胞療法開発への
企業側の取り組み**
タカラバイオ株式会社
バイオ産業支援事業部門 峰野 純一
- 7** **がん免疫療法・細胞療法をめぐる
規制上の諸問題**
医薬品医療機器総合機構
再生医療製品等審査部 佐藤 大作

今 取り組むべき 課題

平成 26 (2014) 年

日時: **11月28日** **金**

9:00-16:30

会場: 日経カンファレンスルーム
日経ビル 6F

<http://www.nikkei-hall.com/access/>

参加申し込み: 抗悪性腫瘍薬開発フォーラム
ホームページにて9月下旬より受付
<http://atdd-frm.umin.jp/>

● 定員になり次第、締め切りとさせていただきます

第2部 **研究者主導臨床試験における 新しい方向性** (13:30-16:25)

- 1** **臨床研究倫理指針改訂および
臨床試験法制化をめぐる動向**
厚生労働省 医政局 研究開発振興課 河野 典厚
- 2** **研究者主導臨床試験のあり方に対する提言**
日本製薬工業協会 医薬品評価委員会/
アステラス製薬株式会社 稲垣 治
- 3** **利益相反管理:わが国と海外の動向**
日本製薬工業協会 医薬品評価委員会/
塩野義製薬株式会社 花輪 正明
- 4** **企業との契約に基づいた
医師主導治験モデル構築**
国立がん研究センター 研究支援センター 佐藤 暁洋
- 5** **欧州での研究者主導臨床試験法制化と
運用の実際**
慶應義塾大学大学院 法務研究科 磯部 哲
- 6** **ICH-GCP 準拠を目指した
研究者主導臨床試験運用の実際**
北里大学大学院 薬学研究科 成川 衛
- 7** **わが国での臨床研究の目指すべき方向性**
日本医療政策機構/
内閣官房健康・医療戦略室 宮田 俊男

■ 閉会の言葉 矢守 隆夫

* タイトル・内容・時間は一部変更になる場合があります。
最新のプログラムは抗悪性腫瘍薬開発フォーラムホームページをご覧ください。

グローバルエビデンス発信を目指して 日本からの

第4回がん新薬開発合同シンポジウム